



株式会社 サンキョウ-エンビックス

CSR報告書2024



活動期間

2024年4月～2025年3月

目次

会社概要	2
2024年度経営方針	3
管理体制(組織図)	4
中期経営計画(2024年度～2026年度)	5
事業	7
サンキョウエナビックスの事業	
計画的な事業慣行	
公正な事業慣行	
保有設備	
有資格者	
環境安全	10
環境安全方針	
環境安全計画の実践	
社会	12
人権	
職場づくりの取り組み	
教育と研修	
未来計画	
職場づくり方針	
会社業績	16

会社概要

社名 株式会社サンキョウエナビックス

住所 〒700-0954 岡山県岡山市南区米倉66番地2

代表者 代表取締役 浅野浩一

設立 1972年2月2日

資本金 1,000万円

社員数 35名(2025年3月31日現在)

事業内容 コンサルティング、環境サポート関連

(環境管理コンサルティング/環境アセスメント/土壌汚染調査/環境に関わる設備
改善サポート/労働安全衛生コンサルティング/講師派遣サービス)

環境管理支援業務

(ばい煙測定/悪臭・臭気測定、有害ガス測定/排水分析/土壌分析、廃棄物分析/
騒音測定、振動測定/ダイオキシン類測定/作業環境測定/室内空気環境測定、
アスベスト調査分析、農薬分析、製品分析等)

環境関連設備機器及び消耗品機器、薬品等の販売

事業登録

◇ 環境計量証明事業

岡山県 第6-2号(濃度)

岡山県 第7-4号(音圧)

岡山県 第8-2号(振動)

◇ 作業環境測定機関

岡山労働局 第33-4号

◇ 土壌指定調査機関

環境省2020-6-0001

◇ 建築物飲料水検査

岡山県15水第13号

会社 HP



認定・認証



当社はISO9001:2015(品質)とISO14001:2015(環境)を取得し、永続的に存在するためのマネジメントシステムを構築しています。第三者機関として環境配慮と品質を追求し、リスクと機会に挑戦できる経営基盤の強化を図っています。



ライフワークバランスのとれた働きやすい職場にしていいため、子育てサポートや社員の健康を増進するための仕組みを取り入れています。社員の健康的な生活や、仕事と子育ての両立を支援しています。



当社は地震・風水害・感染症により事業継続が脅かされる事態に備えるため、岡山県が認定しているBCP(事業継続計画)と、経済産業省認定の事業継続力強化計画を策定しています。この計画に基づいて、静岡県にある同業者とお互い様連携を結び、有事の事態に備えています。

ドメイン (生存領域)

『よりよい環境を創造する』

私たちは、地球と人間と産業とが調和し、共生できるよりよい環境を創造し、
社会に貢献できる企業を目指します

経営理念 (ミッション)

コンセプチュアル

私たちは、関わる全ての人々と信頼しあえる関係を築き、
相互に成長し発展できる価値を創造します

ヒューマン

私たちは、人からあてにされる人間集団となり、
生きがいと働きがいの持てる会社に成長していきます

テクニカル

私たちは、企画提案力や技術を持った専門家を目指し、
社会に貢献し続けます

経営方針

■ 地域社会の一員として社会に役立つ活動を推進する

■ 強い組織をつくる

■ 未来を築く人財を育成する

教育方針

基本姿勢

企業が求める人財は企業に高い収益を安定してもたらししてくれる働き手です。しかし、それがどんな人物でも、どんな方法でも良いというわけではありません。企業人としての手腕力量が問われる前に、人間として社会的に信頼される人物であることが大切です。次の五つの条件を満足できる教育を目指します。

■ 周囲から信頼され、他人に思いやりがあり、リーダーシップが取れる人

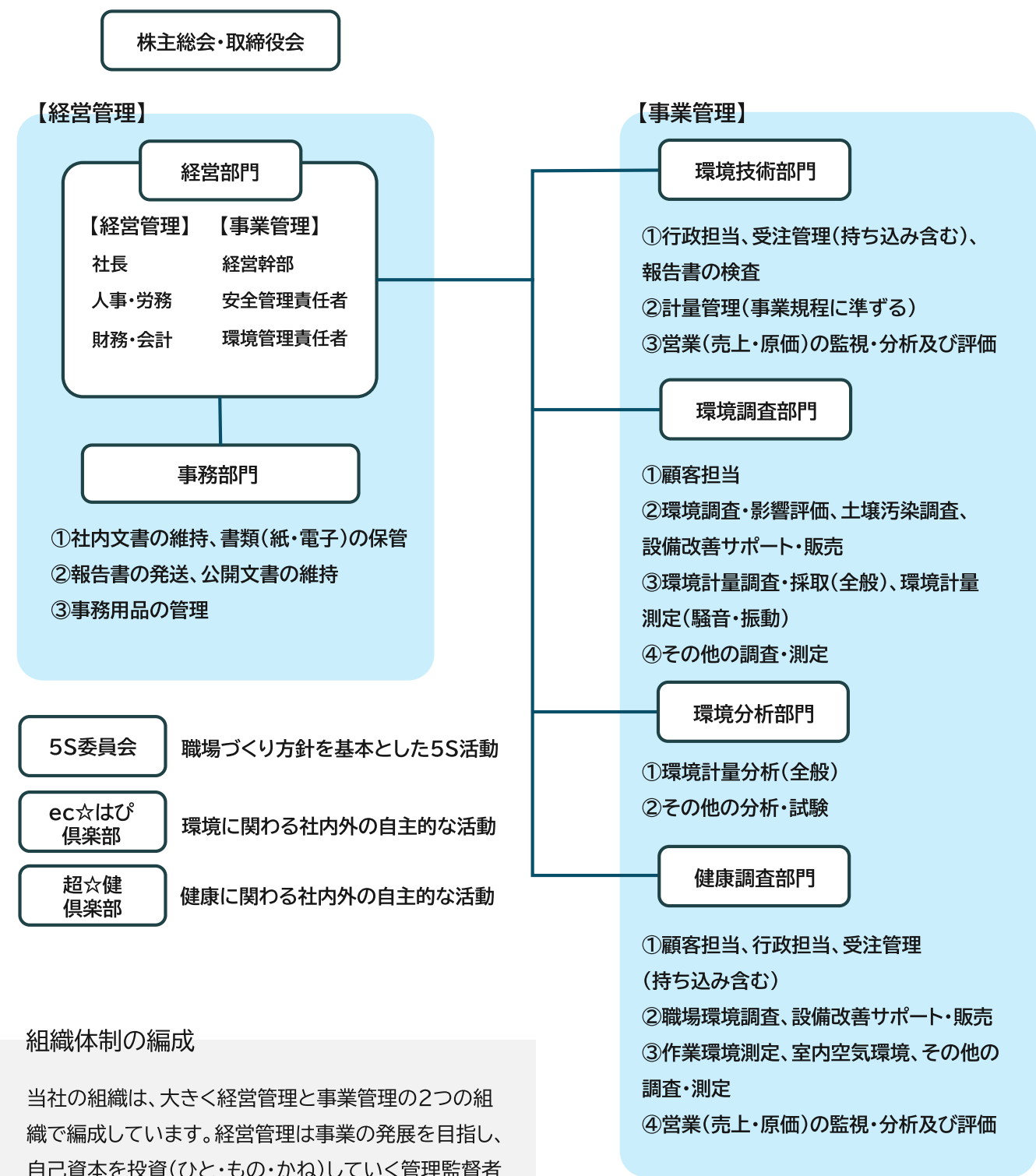
■ 仕事と人生との関わりをしっかりと自覚し、仕事の中によるこびや生きがいを見いだすことができる人

■ 物事を大局的な立場で本質的に判断でき、自主的・創造的に対応できる人

■ 心身ともに健康で、私生活を自ら律していける人

■ 人との触れ合いを大切にし、積極的な謙虚さをもってたえず成長をとげていく人

管理体制(組織図)



組織体制の編成

当社の組織は、大きく経営管理と事業管理の2つの組織で編成しています。経営管理は事業の発展を目指し、自己資本を投資(ひと・もの・かね)していく管理監督者としての役割を果たします。事業管理は投資された資源を基に収益を高めていく生産者として位置づけています。経営と事業との両輪で会社を運営し、事業の発展とともに、社会に貢献していくことを目指した組織体制となっています。

中期経営計画(2024年度～2026年度)

2024年度		
項目	経営目標	実践・評価
業績結果	営業利益45,000千円以上(営業利益率15%以上) 会社が30,000千円を確保し、それ以上の営業利益を会社と社員で分配する	営業利益65,522千円(営業利益率約19%) 会社が30,000千円を確保し、営業利益のうち累計約58%を社員へ賞与と褒賞として分配(法定福利込み)
未来計画	・10年ビジョン策定に向けた基礎学習の実施 ・事業継続を目的とした連携体系の基盤構築 ・ISO45001を追加した統合マネジメントシステムの認証準備 ・人財育成規程の更新	・全8回の基礎学習終了、認識度試験合格 ・連携体系の基盤は組織体制変更に伴い再編成 ・環境安全管理規程を発行し、準備を進めた ・人財育成規程の更新案完成
利害関係者	・顧客満足度:HP(55ポイント)、ニュースレター(55ポイント) ・株主他満足:満足度調査で回答率100% ・外交(人脈)一覧表の構築、顧客管理の構築(顧客カルテ)	・HP(44ポイント)、ニュースレター(47ポイント) ・株主他満足:満足度調査で回答率96%(13社/14社) ・外交(人脈)一覧表は未構築、顧客カルテ復活準備
業務プロセス	・2023年度付加価値額比で2%:5,000千円コストダウン ・残業時間月30時間以内/人 ・時間当たりの付加価値額4,000円 ・受注管理手順の見直し、検証・検査手順の見直し	・コストダウン未達成(1%:3,082千円ダウン) ・残業時間月28時間58分/人 ・時間当たりの付加価値額4,661円 ・受注管理手順書発行、検証検査手順の見直し未実施
人財育成	・社長:経営理念の理解、経営方針の周知、教育方針の周知 ・役員:マネジメントシステム、就業規則、決算書の理解 ・技術管理:社会性を伴う物件の取り扱いを理解 ・リーダー:マネジメントシステム、就業規則、決算書の理解 ・サブリーダー:環境調査部門1名選任	・社長:経営幹部への周知や理解は実践的に高まっている ・役員:マネジメントシステム、就業規則は理解あり ・技術管理:学びの場を持つての教育は行き届いていない ・リーダー:マネジメントシステムは理解不足、就業規則は理解あり ・サブリーダー:環境調査部門1名選任予定
不適合の修正・是正措置	苦情8件:技術的な誤りが4件 事故6件:顧客先3件、車両3件 不適合10件:環境技術部門2件、環境調査部門6件 環境分析部門9件、健康調査部門2件 事務部門0件	発生した苦情や事故、不適合についてしっかりと関係部門では正が行われた。依頼の目的が十分に理解できていないものや各検証・検査で見逃されているものなどが多かった。物件の入口となる受注管理においては、受注管理手順書を発行、注文内容確認票の更新、関係者への教育・周知を行ったことで改善が期待できる。部門間の引き渡しにおける検証については見逃されることも多く、改善の余地がある。来年度は検証・検査の工程を中心にサービス管理規程の見直しを進め、品質の維持を図る。

2025年度計画

2026年度計画

業績結果	2025年度計画	2026年度計画
	営業利益50,000千円以上(営業利益率15%以上) 会社が30,000千円を確保し、それ以上の営業利益を会社と社員で分配する	営業利益50,000千円以上(営業利益率15%以上) 会社が30,000千円を確保し、それ以上の営業利益を会社と社員で分配する
未来計画	・ビジネスモデル図を盛り込んだ10年ビジョンの構築 ・人財育成規程の更新 (教育プログラムの実践、試験制度・褒賞制度の完成) ・ISO45001を追加した統合マネジメントシステムの準備 ・連携対応の訓練(見直し、合同演習、勉強会)	・10年ビジョン完成 ・人財育成規程の更新 (教育プログラムの変更、試験制度・報奨制度の変更) ・統合マネジメントシステムの認証 ・連携対応の定着
利害関係者	・HP満足度60ポイント ニュースレター満足度60ポイント ・株主他満足:満足度調査で回収率100% 評価コメント20件 ・外交(人脈)一覧表の構築、顧客管理の運用	・HP満足度70ポイント ニュースレター満足度70ポイント ・株主他満足:満足度調査で回収率100% 評価コメント30件 ・次期中期経営計画策定において利害関係者の情報源となっている
業務プロセス	・2024年度付加価値額比で1%:5,500千円コストダウン ・残業時間月30時間以内/人 ・時間当たりの付加価値額4,150円 ・品質マニュアルの9章(評価)、10章(改善)の整備	・2025年度付加価値額比で1%コストダウン ・残業時間月30時間以内/人 ・時間当たりの付加価値額4,375円 ・品質マニュアルの運用定着
人財育成	・社長:評価基準・教育プログラムの完成 ・役員:経営の数字が読める ・リーダー:部門の数字が読める ・サブリーダー:環境分析部門1名、経営管理1名選任	・社長:後継者へ伝承することができる ・役員:後継者を経営的に支えることができる ・リーダー:後継者を支えることができる5名の管理者が定着 ・サブリーダー:リーダーを支えることができる5名が定着

サンキョウエンビックスの事業

◆コンサルティング事業

■環境管理コンサルティング

該当施設の使用・構造等の変更があった場合の届出支援や、環境改善への有効性を高める設備改善サポートを行っています。

■労働安全衛生コンサルティング

規模や業種に関わらず、有害性のある化学物質を取り扱う事業者は自社で管理を行う必要があります。お客様の職場を安全な環境にするための改善提案や化学物質の自律管理の支援、化学物質管理を行う上での講師派遣サービスを提供しています。

◆環境サポート事業

環境アセスメント、土壌汚染調査、環境に関わる設備改善サポートといったサービスを提供しています。環境アセスメントでは開発行為に伴う自然環境への影響を科学的に評価し、法令遵守と地域との共生を両立させる計画を策定しています。土壌汚染調査では、土壌汚染対策法に基づく調査・分析を実施し、お客様のリスク管理のサポートを行っています。環境に関わる設備改善サポートでは、設備の導入・改善提案を通じ、お客様の環境負荷低減とコスト最適化を図ります。計量証明事業で培った正確なデータと技術力を活かし、お客様の環境管理をサポートします。

サービス	計 画	調査・測定・分析	データに基づいた支援
環境アセスメント	整理・作成 提案・協議	測定・分析	分析結果に基づいて予測・解析・評価を行い、お客様の事業が環境にもたらす影響を総合的に評価する
土壌汚染調査		地歴調査 試料採取 分析	汚染のおそれを3段階で評価する 特定有害物質による汚染状況を確定させる 結果に対する対応を提案・実施する
環境に関わる 設備改善サポート		測定・分析	分析結果に基づいて解析し、協力会社とともに設備の有効性を高める環境改善の対策を提案する

◆環境関連設備機器及び消耗品機器、薬品等の販売

◆環境管理支援業務

自然環境や人々の生活環境・健康を守るために、法令による規制や環境基準が設けられています。実際に現場に訪問し、測定や調査を行ったのち、採取した試料の分析を行い、結果を報告します。また、分析の結果によっては改善の提案を行います。お客様のよりよい事業活動、また地域で暮らす人々が安全で安心に暮らせるよう、「信頼できる数値」を提供し続けます。

大気測定分析



工場から排出される煙や、大気汚染の原因となる有害ガスに含まれる物質の測定分析を行う。



騒音・振動測定

騒音・振動は生活環境に影響を与える身近な環境問題の一つ。調査計画から解析・評価まで行う。



作業環境測定

労働者の安全と健康を守り、快適な職場環境へと改善・維持するための測定。



水質調査

定められた基準に基づいて排水、河川水、海水など様々な「水」の調査・分析を行う。



廃棄物分析

お客様の、法令に基づいた廃棄物の適正処理のため、有害物質の有無や含有量を確認する。

計画的な事業慣行

1. 統合マネジメントシステムの構築と品質マニュアルの運用

当社は企業価値の向上と持続的な発展を目指し、ISO9001(品質)およびISO14001(環境)の認証を統合したマネジメントシステムを構築・運用しています。環境計量証明事業を担う第三者証明機関として事業活動が社会や環境に多様な影響を与えることを認識し、常に高い品質と信頼性の確保に努めています。統合マネジメントシステムの運用にあたっては、組織全体のパフォーマンス向上と持続的な成長を目的に、品質マニュアルを活用しています。2024年度には、役割と責任の明確化を図るとともに、品質マニュアルの第35版を発行しました。また、業務プロセスにおけるインプット・アウトプット情報を的確に



管理するため、関連する手順書や様式の改訂を計画的に実施しました。これらの取組は、より高品質なサービスの提供につながっています。

2. 計画的な見直しの実施

1) 外部監査

毎年ISO認証について、外部機関によるサーベイランス審査を受審しています。今年度も認証を継続することができました。審査時にいただく審査員からのコメントを改善の機会とし、品質マニュアルの見直しを行いました。

2) 内部監査

品質マニュアルが機能しているかを確認するため、社内の内部監査員が監査を行っています。2024年度上期は顧客に関する事項、下期は検証検査工程に関する事項を中心に2回実施しました。

3) 受注管理の見直し

内部監査の結果より、部門リーダーを中心に業務プロセスの運用を見直しました。お客様の様々な要望に応じたサービスを提供できるよう、受注管理手順書を発行し、社内教育を行いました。また、各工程での不具合を回避するため、注文内容確認票の様式変更も行い、お客様の情報をより正確に共有・把握できるよう見直しました。

公正な事業慣行

外部精度管理

日本環境測定分析協会等が行う技能試験に参加し、分析結果の精確性を検証しています。外部の第三者機関によって分析の精確性を客観的に評価することで、品質を管理しています。当社では、毎年外部精度管理に参加しており、2024年度の結果はホームページで公開しています。

内部精度管理

社内の標準試料等を試験し、精確性の確認をしています。2024年度は、環境分析部門では、水質分析の全窒素・ふっ素の2項目において実施し、基準を満たす結果となりました。健康調査部門では、11件実施し、基準を満たす結果となりました。

TOPIC① 会社見学会



お客様を対象とした会社見学会を行い、多くのお客様に来社いただきました。分析室や事務所、倉庫など社内を巡り、普段見る機会が少ない分析の様子や改善の取り組み、社内外の活動を説明しました。ご参加いただいたお客様からは、改善・5S活動や活動への感心の声が多く挙げられ、品質への信頼感が高まったとのこと意見もいただきました。

保有設備

主要設備・装置	
ガスクロマトグラフ分析装置(GC)	ポータブルガス分析計
ガスクロマトグラフ質量分析装置(GC-MS)	高速液体クロマトグラフ分析装置
ICP発光光度分析装置(ICP-OES)	イオンクロマトグラフ分析装置
全有機炭素計(TOC計)	騒音計・振動レベル計

上記設備を使用し、様々な項目の分析を行っています。また、定期的な点検を実施することで設備の異常を早期に発見し、お客様に対して常に正確な測定値を提供できる体制を整えています。

有資格者

資格	2024年度合格者(人)	合計(人)
環境計量士(濃度計量)	一次試験合格:1	1
環境計量士(騒音・振動)	0	1
作業環境測定士	1種 特化物:1 1種 粉じん,有機;1	5
土壤汚染調査技術管理者	1	2
環境測定分析士 3級	1	18
労働衛生コンサルタント	1	2

環境計量証明事業、土壤汚染調査事業を行うにあたり、それぞれ環境計量士、土壤汚染調査技術管理者の国家資格が必要です。2024年度にはそれぞれ1名ずつ新たに資格を取得しました。また、その他にも労働全衛生関連の国家資格である労働衛生コンサルタントに1名、第一種作業環境測定士に2名が合格しました。今後の事業の継続、さらなる発展を目指し技術力を磨いていきます。

環境安全方針

◎ 基本姿勢

企業価値を追求し永続的に生きていくために法令を遵守し、岡山地域の問題や課題を解決していける高付加価値の事業を提供し続ける。既存事業は様々な負荷をかけながら活動しているため、活動の結果として環境や安全に影響を及ぼしていることを自覚し、負荷の低減に努める。

- ・会社のマニュアルの手順を守り事業の維持と発展に努める
- ・法令を理解し手順を定め遵守する
- ・持続可能な事業を開発し、岡山地域の発展に貢献する
- ・既存事業の影響を知り、負荷の低減に努める
- ・岡山地域で有益な環境活動を推進する

◎ 環境配慮・安全配慮

一、顧客ニーズの創出と提案営業を充実

- 法令に関する知識を継続的に学習する
- 該当する環境法令の管理を手順通り実施する

一、新たな事業の柱を構築

- 法令を基盤とした事業及びサービスを開発する
- 環境配慮、安全配慮に関する事業及びサービスを開発する

一、負荷の低減

- 過剰な産業廃棄物の排出量を低減する CO2の排出量を低減する
- 職場のリスクを低減し、安全で安心な職場へと継続的に改善する

環境安全

環境安全計画の実践

①法令に関する知識向上のための勉強会

1)社内安全環境の日

毎年5月22日を社内安全環境の日として設定し、勉強会を行っています。グループワークでは事業を行うにあたっての環境負荷低減の検討、また危険予知トレーニングを行いました。安全と環境に配慮する姿勢を全社員で共有し取り組んでいきます。



グループワークの様子①

2)避難訓練

社員各々が想定した緊急事態に応じて措置を講じる避難訓練を実施しました。訓練後は、想定していた緊急事態を共有し、それにどのように対応すべきかを話し合いました。有事の際に迅速な対応ができるよう、日頃から対策を考えていきます。



グループワークの様子②

②環境安全管理規程の発行

環境管理と安全管理を統合した、環境安全管理規程を発行しました。環境負荷の低減及び労働災害の防止を図るとともに快適な職場環境を形成することを目的としています。また、改正された労働安全衛生関連法令の施行に伴って化学物質管理の仕組みを更新しました。2026年度にはISO45001(安全衛生)を取得することを目指しており、環境安全管理規程の実践と見直しによって、社内の環境・安全管理をさらに充実させていきます。現在登録されている品質と環境の認証と統合し、お客様に提供する環境・安全管理の支援力の向上につなげていきます。

③新たなサービスの開発

環境法令、労働安全衛生法令等に関する法令診断、法令管理支援に関するサービスを実施しています。お客様に該当する法令の遵守状況を診断し、法令管理の支援を行います。環境法令関連では法令診断に加え、施設や設備を稼働させるために必要な届出の支援を行います。労働安全衛生法関連では作業環境測定の延長から診断業務を展開しています。加えて講師派遣サービスも行っており、化学物質管理に関する講習や安全衛生教育に関する講習など教育のサービスも展開しています。引き続きお客様の期待とニーズに応えていきます。

表1 環境データ

		単位	2022年度	2023年度	2024年度
創出量	太陽光発電	×10 ³ kWh	73.1	69.5	71.3
	電気	×10 ³ kWh	99.9	101.3	107.6
使用量	LPG	kg	54.0	53.6	65.0
	ガソリン	×10 ³ kWh	115.9	112.4	108.7
	紙	kg	647.1	712.0	716.6
	水	m ³	495.0	520.0	536.0
排出量	二酸化炭素	×10 ³ kg-CO ₂	815.1	790.3	814.7
	廃棄物	t	4.8	6.3	5.3

④環境負荷の低減

事業活動を行う過程で発生する、汚泥や廃プラスチックなどの廃棄物を、適切に処置・管理するよう努めています。2024年度は、前年度比5%の削減を目標としてかけ、16.3%の削減を達成することができました。来年度も前年度比5%の削減を目指します。また、電力消費量は前年度比1%の削減を目標としていましたが、未達成となりました。引き続き来年度も前年度比1%の削減を目標とし環境負荷の低減に努めます。

職場づくり方針

◎ 基本姿勢

明るく楽しく仕事ができ、ライフワークバランスが取れた働きやすい職場にしていきます。お客様へのサービスや品質の向上も私たちの明るさや楽しさから生まれると考えます。みんなが活発に活動することで目指す姿にも近づいていきます。公私共に充実した笑顔ある職場を創ります。

- 共同生活の場であり、協力し合って楽しめる場とする
- 安心して安全に楽しめることを自らが設定し実践する
- 働く環境づくりを優先し、お客さまへは公正に対応する
- 時間外労働が当たり前の体質は変える
- 家族へ与える影響に配慮する

職場づくりの取り組み

一、委員会

- 3S活動でつくる快適な職場環境へ
- 地域社会の一員として、身近な生活環境を守り育てていく

一、倶楽部

- 岡山の自然を知り、慈しみ、護る心を醸成する
- 健康はすべてに優先する 心身ともに健やかであれ

一、経営管理

- 会社を飛び出して社会を知り、本質的な思考を高める
- 視点を増やして自分の世界を広げ、他者との接“点”を接“面”へ

人権

就業規則の運用

労働関連法令を遵守し、社会環境や働き方の変化に応じて就業規則を適宜見直しています。2024年度には、育児・介護休業制度をさらに充実させ、従業員が仕事と家庭を両立できるより良い職場作りを推進しました。今後も引き続き、法律に基づいた就業規則の適切な運用と従業員への周知を徹底し、全社員が働きやすい職場環境を提供していきます。

職場づくりの取組

ハラスメント対策

お客様受付にポスターを掲示し、社内外に向けて周知を行い、いつでも相談できるよう、社内外に相談窓口を設置しています。また、心理的安全性の高い職場を目指し、社内アンケートを実施しました。アンケートにはハラスメントに関する内容を盛り込み、社内コミュニケーションの現状把握に活用しました。



ハラスメントポスター掲示



5Sの歴史を共有している様子

5S委員会

「整理・整頓・清掃・清潔・躰(習慣)」の5S活動を5S委員会が中心となって行っています。5S活動を単なる清掃・整理にとどめることなく「ムリ・ムラ・ムダ」の排除を通じて業務改善を進め、安全性の確保やコストダウンにつなげることを目指しています。就業時間内に毎朝15分の清掃、月末に社内の5S状況をチェックする活動を行っています。2024年度は5Sの歴史を若手に伝える勉強会も実施しました。



玄関先のビオトープと庭

ec☆はぴ倶楽部

環境保全を推進する社内外の活動を行っています。社内では玄関先のビオトープや庭の管理や花木の手入れ、社外では環境に関わる活動に参加しています。2024年度に参加を予定していた「旭川かいぼり調査」はあいにくの雨天で中止となりましたが、引き続き岡山県の環境保全に貢献できるよう、活動していきます。

旭川かいぼり調査：一時的に川をせき止め、生き物のモニタリングと川の底質環境改善を目的としたイベント

超☆健倶楽部

当社は私生活の充実(ライフ)があってこそその仕事の充実(ワーク)という考えから、ライフがワークに先立ったライフワークバランスを職場づくり方針の基本姿勢としています。働きやすい職場づくりの活動の一つとして社員の健康増進を後押しするため、2024年度から新設された倶楽部です。2024年度は土曜出勤日のラジオ体操の実施と、年齢や性別にかかわらず楽しめるモルック大会を実施しました。社員の健康増進の一旦を担えるよう活動していきます。



モルック大会の様子

教育と研修

教育

2024年度は教育方針を新たにし、方針に基づいて人財育成規程を更新しました。教育方針及び就業規則に準じ継続的な会社の成長と社員の成長を導くための、また社員が時代の変化に適応し有事の際に適応していける人間になるための学習システムとして制定しています。段階に応じてテクニカルスキル(科学性)、ヒューマンスキル(人間性)、コンセプチュアルスキル(社会性)を身に付けられるよう、社内の教育プログラムを充実させていきます。

研修

社内研修会



社内勉強会の様子

2024年6月に外部講師の方を招き、研修会を開催しました。「労使の利害とコミットメント」というテーマで、主体性をもった生き方について全社員で学びました。講義を踏まえてグループワークを進めていく中で、自分と違う意見を聞き、考えを深めました。

社外研修



事業代表の方の講義

廃棄物処理やグランピング運営等多岐にわたって事業を行っている企業へ研修に伺いました。様々な事業にチャレンジする皆さまの様子に、当社員も刺激を受けました。当社が地域にどのように貢献することができるのかを考えるきっかけとなりました。

未来計画

企業ドメインを追求するため、2024年度より未来計画を立ち上げました。4つの行動目標からなる未来計画を設定し構築していくことで企業価値、事業価値、人財価値につなげ、次世代の経営基盤としていきます。

〈企業ドメイン〉
よりよい環境
を創造する

1 10年ビジョンづくり

2 事業継続力強化計画

3 統合マネジメントシステムの運用

4 学習型の風土づくり

10年ビジョンづくり

10年ビジョン構築に向けて、パラダイムシフトをテーマに経済と経営の考え方の基礎を学びました。ビジョンは2027年に公開を予定しており、新しい事業を作るための準備の1年となりました。2024年度は地域課題解決型のビジネスプランの確立につながる学びと経験を深めます。

統合マネジメントシステムの運用

2023年度を基準とし、2024年度は運用手順及び管理体制を構築するため環境安全管理規程を発行し、社内の環境管理と安全管理を充実させました。来年度は環境安全管理規程に従って実践し課題を特定していきます。

(p11詳細)

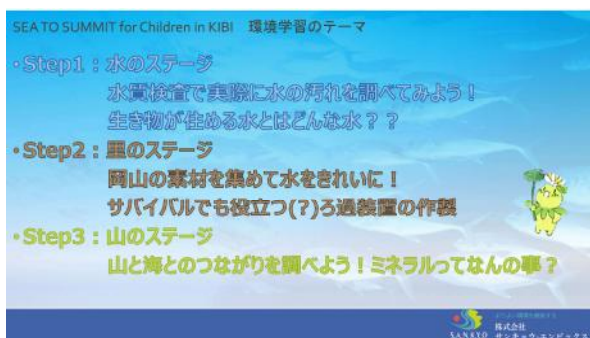
事業継続力強化計画

災害発生時に事業早期復旧を行うため、県外の同業者と事業継続力強化計画を策定しています。定期的な会議を重ね、連携組織体制や緊急時の対応手順、訓練等の計画を策定し、また事業継続に必要な国家資格取得に向けた勉強会を開催しました。

学習型の風土づくり

2024年度に決定された教育方針を基盤に人財育成規程の更新、試験制度の試行、褒賞制度の充実を行いました。学習型の風土を高めることをねらいとしています。来年度は特に若手・中堅への教育プログラムを構築し、実践への準備を進めます。

地域コミュニティ



環境学習のテーマ

「SEA TO SUMMIT for Children in KIBI」

国立吉備青少年自然の家が主催する、小中学生を対象とした環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT for Children in KIBI」に講師として参加しました。宍川海岸から国立吉備青少年自然の家を舞台にした、3日間の自然共生学習を目的としたイベントです。当社は環境学習の時間を担当し、子どもたちが海や山で取ってきた水の検査や、自然の中での水の循環と役割について講義を行いました。なかでもペットボトルでろ過機を作る実験が好評で、環境について考える意識が高まったとの声をいただいています。

環境学習出前講座

岡山市内の小学校で環境学習出前講座を実施しました。「ごみ」をテーマとして、大量のごみの発生がどのような問題を引き起こしているかを伝えました。また、講座の中で、使わなくなった保冷剤を使ったアロマ作りを行い、廃棄物の再利用を体験してもらいました。生徒たちは環境クイズやアロマ作りといった取り組みを通し、自分の行動がどのようにごみ問題につながっているのか考える機会となったようでした。



製作した保冷剤アロマ

岡山市エコボランティア活動町内清掃

当社の周辺500mを対象として町内清掃を行っています。今年度は計3回行い、約21kgのごみを集めました。ごみ拾いSNSのピリカにもその様子を掲載しています。当社が所在する岡山市南区米倉地区は笹ヶ瀬川流域に位置しており用水路が多く存在します。

この用水路にもたくさんのごみが捨てられており、町内清掃のたびにできる限り拾っています。これからも地域の皆さんと気持ちよく快適な環境で過ごすことができるよう、地域貢献に努めます。



拾ったごみを分別する様子

TOPIC②海ごみ回収コンテスト



2024年11月24日、岡山県主催「瀬戸内海国立公園指定90周年記念海ごみ回収コンテスト」に社員4人が有志で参加しました。

このイベントは楽しみながら海ゴミを拾い、瀬戸内海の美しい景観を守ることを目的としています。ポイント制で、どれだけゴミを回収できたかをチームごとに競い合いました。当社チームが回収した、BBQ後に残されていたごみが高得点と評価され準優勝となりました。今後も岡山県の景観を守ることに貢献していきます。

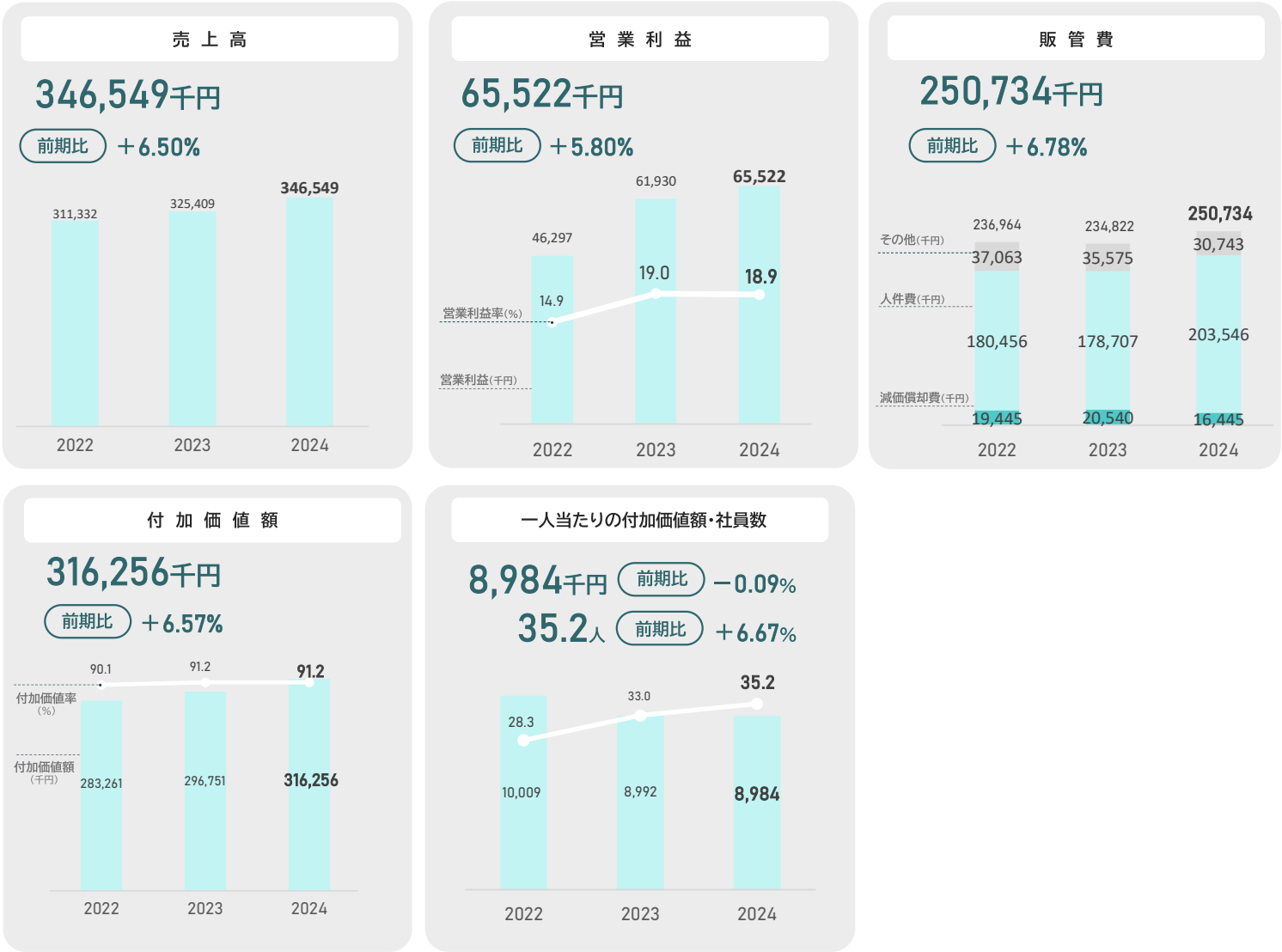
TOPIC③スマート通勤おかやま2024



「スマート通勤おかやま2024」にて「スマート健康賞」を受賞しました。スマート通勤とは環境にやさしいまちづくりを目指し、

自転車や徒歩、公共交通機関を利用して通勤する取組です。参加した122の事業所の中から14事業所に表彰状が贈られ、当社は自転車・徒歩で参加した人の割合が最も高い事業所として表彰されました。今後も本イベントの開催期間中だけでなく、まちと体に優しい通勤を普段から実践していきたいと思っています。

会社業績



社員

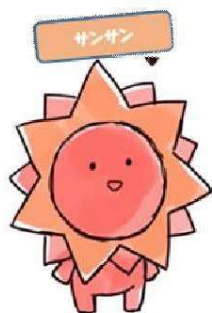
社員の状況

	正規雇用(人)			非正規雇用(人)			合計
	男	女	小計	男	女	小計	
2024年度	18	8	26	1	8	9	35
2023年度	19	7	26	2	7	9	35
2022年度	16	5	21	1	7	8	29

※各年3月31日時点

男女別採用人数

	新卒社員(人)			新卒社員離職(人)		
	男	女	小計	男	女	小計
2024年度	0	2	2	0	1	1
2023年度	3	1	4	1	0	1
2022年度	1	0	1	0	0	0



株式会社 サンキョウ・エンピックス

[お問い合わせ先]経営管理

〒700-0954

岡山県岡山市南区米倉66番地2

TEL:086-242-1035 FAX:086-242-1036

<https://sankyo-ltd.co.jp/>

発行 2025年7月